

## 第5回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について

### 【中学生部門】

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
最優秀賞	個人	福井大学教育地域科学部 附属中学校  吉村 太郎	3	<b>「個体変異の規則性に関する考察」</b> ～なぜオホーツク海の貝類相に沖縄生息種が混在するのか？～ 500種類の標本を作成する過程で貝類相の違いや示相化石に興味を持ち、研究を始めた。種別ごとの生息環境分析により、貝類相全体の体系性を的確にとらえ、堆積の環境を推察している。種ごとの個体変異のグラフ化により、自らが立てた仮説を丁寧に検証している。	第57回日本学生科学賞福井県審査 知事賞 (H25)
優秀賞	個人	鯖江市鯖江中学校  渡辺 一緒南	2	<b>「在来種・日本ミツバチを飼おう4」</b> 継続研究の4年目であり、年々テーマを深めている。「四季の気温変化によるミツバチの行動」や「紫外線や偏光により方角を知ること」など様々な観点から観察し考察をまとめている。行動観察に徹した緻密な研究内容は、高く評価される。分蜂の瞬間をとらえ、分蜂の時期を予測したり、新しい巣作りを観察できたりしたことは特筆すべきことである。	2013福井県小・中学生科学アカデミー賞 最優秀賞 (H25)
優秀賞	個人	勝山市立勝山南部中学校  中野 崇人	3	<b>「電波発電の研究」</b> ゲルマニウムラジオを作った経験から、この研究を始めた。アンテナコイルの巻き数や向きなど諸条件を変えて実験し結論を導きだしている。疑問に思ったことを解決する過程で、的確にポイントを見つけ、自ら調査し解決方法を探るなど、主体的に研究に取り組んでいる。	2013福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞 (H25)

### 【高校生部門】

賞名	推薦種別	所属校氏名	学年	受賞理由	
				研究テーマ等	研究発表・コンテスト等での成績
最優秀賞	グループ	福井県立丸岡高等学校 倉本 征弥 若林 裕也 野口 莉央	2	<b>「チョークの点線の研究」</b> チョークで線を引くとき、時折飛び跳ねながら点線を生じることがある。チョークの運動をハイスピードカメラやICT機器で分析し、メカニズムを検証した。チョークは押し出す力による静止摩擦力が最大に達し動き出した後、回転運動により跳ね上がり、回転とともに押し出す力が弱くなって再び着地することをつきとめた。点線発生装置(テンテン君)を製作し、規則正しい点線を描くことに成功したことは評価される。	第57回日本学生科学賞福井県審査 最優秀賞 (H25) 第57回日本学生科学賞中央審査 入選1等 (H25)
優秀賞	個人	福井県立藤島高等学校 眞田 嵩大	2	<b>「Supercomputing Contest2013 4位」他</b> 平成24・25年度情報オリンピック本選出場を果たした。パソコン甲子園や、Supercomputing Contest、科学の甲子園全国大会等に参加し、優れた成績を残している。理論問題、実験問題に、優れた考察力や応用力を発揮している。情報地学部にも所属し、プログラミングやアルゴリズムに熱心に取り組んでいる。	Supercomputing Contest2013 4位入賞 パソコン甲子園2013 11位 第11回情報オリンピック本選出場 (H24) 第12回情報オリンピック本選出場 (H25) 第2回科学の甲子園全国大会 9位 (H24)
優秀賞	グループ	福井県立鯖江高等学校 宮腰 恭平 伊藤 夏輝 吉村 健瑠 嵯峨 麻由子 中川 えみ 高田 可奈子	3	<b>「スカシカシパンのすかし孔の働き」</b> 砂に潜る「潜行行動」と起き上がる「起き上がり行動」に注目し、行動パターンを時間的な変化としてとらえ研究した。すかし孔をスポンジでふさいで実験を進め、体前方のすかし孔が最も重要であることを突き止めた。フィールドで実験をしながら、観察データを蓄積し、詳細に考察している。	第57回日本学生科学賞福井県審査 優秀賞 (H25) 第57回日本学生科学賞中央審査 入選3等 (H25)